

新政クラブ



宮地 毅

宮地 毅

子ども科学館の設置は

問 今後の社会で求められる科学的思考、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心、探求力などは、自然体験や本物に触れる実体験を通じて醸成されるものと考えられる。

子ども科学館の設置に向けた考えは。

答 子どもの頃から最新の科学やテクノロジーに触れることができ、創造性を育み、好奇心をかき立てるような環境づくりが大切だと考える。県知事とのトップ会談でも、福山駅周辺への科学館機能の整備は大変意義あるものとの認識で一致した。

今後は、すでに科学館を設置している他の自治体の事例を調査しその結果を踏まえて県と勉強会を行う。

西谷川の浸水対策は

問 平成30年7月の豪雨時には、駅家町の西谷川でバックウォーター現象が発生しているのではないかと考えるが、福山市域における浸水対策協議会のロードマップには、西谷川への排水機整備が示されていない。

答 ①県では、福川への排水機

場の整備や手城川と天王前川へのポンプ増設を実施している。本市では、沼隈町や神辺町など各地域で排水機の整備に向け設計等に取組んでおり、2020年度から順次工事を行う。

②国は今岡樋門から芦田川への導流路部分の堆積土砂を撤去し、県は今岡樋門から上流約800メートル区間の河道掘削を実施した。引き続き、県により上流域の河道掘削に取り組む。また、福山市土地改良区では、西谷川への流入量低減につながる大橋排水機場のポンプ改修に取り組んでいる。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一) 内には、各党派からの質問申し出時間を記載しています。

会派名	質問者数	質問時間
水曜会	2人	55分
公明党	1人	40分
日本共産党	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



大田 祐介
水曜会
(25分)

芦田川河口堰の将来展望

問 昭和53年に完成した河口堰もいずれ耐震補強を実施する時期が来る。

①河口堰等の耐震診断の実施は、
②児島湖の耐震補強の事業費は国、県、市それぞれが負担し樋門の補強には約160億円が見込まれる。河口堰の工事を行

答 ①河口堰を管理する国土交通省から、耐震性について詳細な検討を実施する予定と聞いている。

②仮に現行の維持管理費の割合で実施した場合、工業用水道事業が77%を負担する。

③中長期的な視点に立ち、費用対効果も含め、引き続き調査研究していく必要があると考えている。

* 3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [議会中継](#) → ここからご覧ください。
 ※児島湖：岡山県にある児島湾の中ほどを堤防で囲って造られた淡水湖。